

## 区政会議 子育て教育・福祉部会（7月20日）について（報告）

**1 ご議論・ご意見をいただきたい事業について**

## (1) 事業名称

浪速区中学生の学力向上支援事業（なにわ学び教室）（1,364 千円）

## (2) 主な事業内容

学習会の開催（区内全中学校・放課後）

- ・対象及び期間：中学1～3年生
- ・期間等：5月～翌年3月（週2回）（体験教室4月）

特別教室の開催

- ・対象：中学1～3年生
- ・期間等：長期休業期間中・計14日間

## (3) 事業実施にかかる主な課題

- ・定員数を各教室20名程度としているが、学校によって参加人数にバラつきがある。
- ・定員数を増やすには、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から教室の収容人数との兼ね合いがある。

## (4) ご議論やご意見をいただきたい内容

- ・令和3年度から各中学校を会場として事業を実施し、多くの生徒に参加してもらっているが、参加受入定員の上限（各教室20名程度）がある中で、区内のより多数の中学生をターゲットとした放課後の学習習慣獲得や学力向上につながるアイデアや、より効果的な周知方法についてご意見をいただきたい。
- ・中学生の学力向上のための学習習慣の獲得方法
- ・より多くの中学生に参加してもらうための効果的な周知方法

**2 事前質問・意見ならびに区役所の回答**

## (1) 意見要旨

«A委員»

- ・学習事業を開催していることを知らない保護者・地域の方々が大多数であるため、区の広報紙「広報なにわ」などを通じて広く告知することが重要であると思う。
- ・参加した中学生が、学習会に参加したことで学力がどのくらい向上したのか等の好事例を広報すれば、参加促進が図られるのではないか。

«B委員»

- ・周知方法は「子育て支援事業」と同じ。
- ・勉強だと思っからやらないし面白くない。問題だと思っると嫌になる。クイズだと思わせる

と楽しくなる。

- ・「ナンプレ」は算数ゲーム、「クロスワードパズル」は国語や知識、自分で辞書を引いて調べてみる。遊びだと思ってやっていると実は勉強。100均にも売っている。
- ・学習会は出来る子どもは参加出来ない。友達も一緒に参加したいと言っても参加出来ない。出来ない子だけ集められたら嫌になるんだと思う。

## (2) 区役所の対応・方針など

- ・「なにわ学び教室」につきましては、区役所ホームページでの周知をはじめとして、翌年度の中学生となる区内の小学校6年生から中学校2年生の全児童生徒を対象に、毎年1月には保護者あての案内文を、また3月には体験教室および通常教室の詳細な案内チラシを配布しております。
- ・また、夏期休業期間中の体験教室につきましては、区内の中学生全員にチラシを配布するとともに区役所ホームページでも周知しました。秋からの通常教室については、あらためて広報なにわ8月号での周知を行います。
- ・学習内容につきましては、中学生6名に1人の指導員を基本とし、個々人の習熟状況に応じたプリント学習や解説動画の視聴等や、ゲーム等ではありませんが、一人ひとりの関心や課題に応じたきめ細かい指導を心がけております。
- ・本事業による中学生の学力向上の好事例については、各中学校とも連携・共有しており、生徒の参加促進に関しては、学校にもご協力をいただいております。
- ・中学生の参加については特に制限を設けておりません。定員の範囲内であれば、希望すれば成績によらずご参加いただけます。

## 3 子育て教育・福祉部会で出た意見

- ・勉強が嫌いな子どもは、なかなか参加しにくいのではないかと。
- ・保護者同士で話すと、チラシの渡っている親が少なかった。親に見せていないのでは。
- ・直接保護者に知ってもらえるよう、保護者メールで知らせるとか学校ホームページを活用するとかすればいいのではないかと。